

令和3年度自治会人権・同和問題学習会の実施状況について

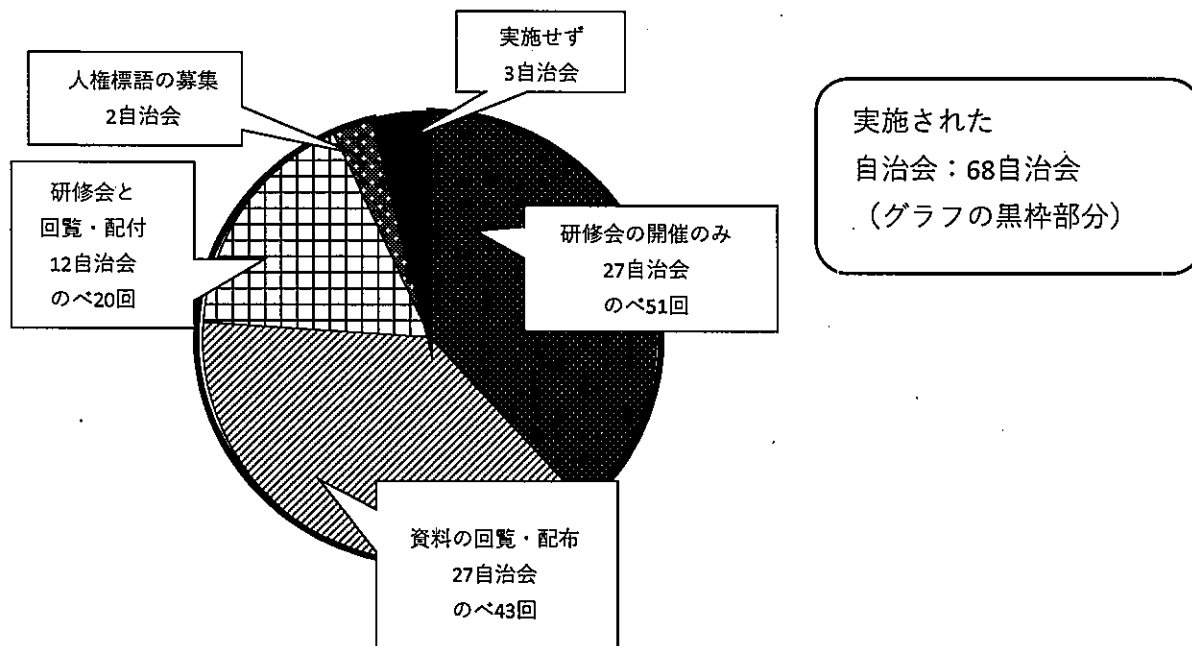
資料2

1. 実施状況

(1)実施方法の内訳

(のべ実施回数)

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
研修会を開催	1	1	15	1	0	5	17	22	2	4	1	69
人権資料を回覧	0	3	3	2	3	2	1	0	0	2	2	18
人権資料を全戸配付	1	2	8	2	1	2	4	2	2	6	1	31
人権標語の募集	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
行事参加者に資料配付	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
合 計	2	6	28	5	4	9	24	24	4	12	4	122



(2)学習会の形態・年代別参加者・テーマ (①は研修会開催69回分の集計)

①形態

DVDのみ	39回
講師による講話	19回
DVDと話し合い	5回
DVDと講師による講話	4回
講師による講話と話し合い	2回

※研修会への参加者：のべ1,618人

(前年度：1,212人)

②年代別参加者

20代未満	43人	2.7%
20代	21人	1.3%
30代	122人	7.5%
40代	235人	14.5%
50代	239人	14.8%
60代	415人	25.6%
70代	371人	22.9%
80代以上	53人	3.3%
未記入	119人	7.4%

※研修会への参加者：のべ1,618人

③テーマの内訳

	研修会	全戸配付	回覧
同和問題	16回	10回	4回
高齢者	6回	1回	—
認知症	7回	1回	1回
障害者	8回	1回	1回
子ども	7回	1回	—
女性・男女共同参画	2回	4回	1回
性的指向・性自認	2回	3回	2回
ハラスメント	6回	—	—
外国人	3回	—	—
インターネット	4回	4回	1回
家庭の中の人権	26回	—	—
人権全般	2回	5回	4回
新型コロナ差別	10回	18回	8回
その他	3回	—	1回

→ アイヌ、まちづくりと人権

(3)配付・回覧いただいた人権啓発資料

(10件) まずは“自分”から 差別の連鎖をなくそう！

～新型コロナウイルス感染症から「人権」を考える～（守山市人権政策課 作成）

(6件) 不安を差別につなげちゃいけない （法務省・全国人権擁護委員連合会 発行）

(9件) 人権啓発リーフレット（第25回部落解放・人権政策びわこ南部地域研究集会実行委員会 発行）

(5件) ふれあいもりやま展の入賞作品から考える「人権」①②（守山市人権政策課 作成）

(2件) 多様な性について考えよう！～性的指向と性自認～（守山市人権政策課 作成）

(2件) ジンケンダーと3つの約束 スマホとの付き合い方（滋賀県人権施策推進課 発行）

(2件) 人権・同和問題に関する市民意識調査報告書 概要版（守山市人権政策課 発行）

(2件) 男女共同参画社会に関する市民意識調査報告書 概要版（守山市人権政策課 発行）

(2件) 滋賀プラスワン 100年前の人々が願ったこと～全国水平社宣言に込められた思い～（滋賀県 発行）

(2件) // ちょっと待って！その書き込み、大丈夫？

(1件) // 今こそ、思いやりの心を～感染症による差別が繰り返されない社会へ～

(1件) こころやわらかく（滋賀県人権施策推進課 発行）

(1件) こころのいずみへ（滋賀県人権施策推進課 発行）

(1件) びわさん一家のこころつながるおはなし（滋賀県人権施策推進課 発行）

(1件) この守山を守るWomen（守山市人権政策課 発行）

(1件) あなたは大丈夫？考えよう！インターネットと人権（公益財団法人人権教育啓発推進センター 発行）

(1件) 知って、支えあう認知症（南部地区地域包括支援センター 作成）

(1件) もっと知って ほじょ犬（厚生労働省 発行）

この他、自治会で独自に資料を作成し、配付された例もありました。

2.工夫して実施された例

(1)3密を回避し実施された例

- ・日程を複数設定し、対象地域を分けて実施
- ・会場（部屋）を複数用意し、分かれて実施（会場ごとに自治会役員が資料をもとに説明）
- ・年末夜警に合わせ、少人数のグループに分かれて実施
- ・回覧で人権標語を各自記入していき、後日町内広報紙で披露
- ・子ども会とPTAに、親子で人権標語を作成していただくよう依頼（交通安全標語、敬老の日のお祝いメッセージと合わせて依頼）
- ・役員のみで学習会を実施し、その後、組会議等で各組に学習したことを伝え、話し合いを実施
- ・子ども会、敬老会の参加者に啓発資料を配付
- ・講演を予定していた講師に資料を作成してもらい、全戸配付
- ・自治会広報紙に人権に関する記事を掲載し、全戸配付
- ・守山市人権・同和教育研究大会の全体会講演を収録したDVDを自治会役員が視聴し、クイズを交えたオリジナル資料を作成して全戸配付

(2)効果的に実施された例

- ・資料配布の際、各戸へ声をかけながら手渡しをし、目を向けてもらえるようにした。
- ・文化祭の抽選会の時間を利用して手話コンサートを開催し、子どもを含む多数の参加を得られた。
- ・健康福祉部会とタイアップし、認知症の方と人権に関する研修会を開催。

3. 参加者・自治会担当者の感想（抜粋）

- ・DVD視聴だけであったが、講師の方と質疑応答をして学びたい。（参加者）
- ・ワークショップで参加者の人権に対する思いを議論する研修会を開催したい。（自治会担当者）
- ・各戸配付にあたり、複数資料の中から精査することになり、担当者として人権に関する知識が身についた。（自治会担当者）
- ・（コロナ禍における人権問題についての講話を受けて）コロナの差別に気づいた時、これまで無関心だった自分を反省した。（参加者）
- ・（コロナ禍における人権問題についての講話を受けて）コロナによる差別、コロナと介護、コロナと家族など、改めて考える良い機会となった。（自治会担当者）
- ・（性的指向と性自認についての講話を受けて）LGBTについて大雑把にとらえていたが、Qも含めてよくわかった。正しい理解をして、誰でもアライになれるとわかった。自分の生活範囲内におられることを念頭に、自然な形で接していきたい。（参加者）
- ・（性的指向と性自認についての講話を受けて）時代の流れとともに、性を取り巻く社会も変化している現実を、地域住民のみなさんで実感し、共有できたので、有意義な学習会となった。30～40歳代の親世代の方々にも聞いていただきたい。（自治会担当者）
- ・（認知症の方の人権についての講話を受けて）重い題材であったが、今後避けて通れない事であり、学習会としては成果があったと考える。（自治会担当者）
- ・（インターネットと人権に関する資料を回覧して）緊急事態宣言が長引く中、自宅でインターネットやSNSにふれる機会が今まで以上に増え、デマやうわさ話に惑わされる人々が増加している。自分で自分自身や家族、親しい人々を守るため、広い視野で情報を取り入れ、偏った考えにならないよう、日常的に注意していきたい。（自治会担当者）
- ・（啓発講師を務める中学校長の講話を受けて）中学校での実体験、教育者としてのいじめに対する取組姿勢等を知ることができ、有意義な研修会だった。子どもの人権についての講話は分かりやすく、新しい発見があった。いじめの解消方法の一つとして、自尊感情を高める、という話に共感した。（自治会担当者）
- ・（部落差別とネット差別に関するDVDを視聴して）人権意識を常に新しい情報に更新する重要性を感じた。次の世代に正しいことを伝えていく責任があると思う。（参加者）
- ・（部落差別に関するDVDを視聴して）同和問題の現状を知ることができてよかった。今までなかった見方、対応が示されており、参考になった（参加者）
- ・（自治会で独自に作成した資料を全戸配付して）意識付けにはなったが、主体的に人権問題について考える効果があるかは分からないため、今後の課題である。（自治会担当者）
- ・（家庭の中の人権に関するDVDを視聴して）改めて家族のあり方が問われる良い内容であり、互いに話し合っただけで確かめ合う重要性に気づくことができた。（参加者）
- ・（家庭の中の人権に関するDVDを視聴して）家庭や地域など、身近な場面での間違っただけの思い込みに気づかされた。自分の思い込みにとらわれず、まわりに目を向けていきたい。（参加者）

4. 今年度の取り組み

- ・集合研修の代替として資料の回覧・配付をされた場合の印刷代補助を新設（守山市まちづくり人権教育推進協議会予算から補助、1枚10円×印刷部数・上限3,000円・1自治会あたり年1回まで）
令和3年度は、13自治会に対して28,600円を補助。
- ・回覧・配付用の資料を前年度より複数提示することにより、自治会の意向に合わせた啓発資料を提供。